

『中学校理科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 理科室もしくは第1学年〇組

(3) 学年・学級 第1学年〇組(30名)

使用教科書 自然の探究 中学理科1(教育出版)

(4) 単 元 名 単元4 光・音・力 第3章 力のはたらき 教科書 P266～279

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

小学校では、第3学年で、物は体積が同じでも重さは違うことがあること、風やゴムの力で物を動かすことができること、第6学年で「てこの規則性」について、力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを学習している。

【単元のねらい】

物体に力を働かせる実験を行い、その結果を分析して解釈することを通して力の働きやその規則性を見いだし、力は大きさと向きによって表されることが、物体に働く2力のつり合う条件など、力に関する基礎的な性質やその働きを理解させるとともに、力に関する観察、実験の技能を身に付けさせること。

【児童(生徒)の状況】

- ・物理領域の学習については、他の領域に比べて興味関心が低い。
- ・観察、実験に積極的に取り組むことができるが、実験の意味を十分に理解できていない生徒が多い。
- ・ペア活動やグループ活動に対して積極的に取り組むことができるが、自分の考えをまとめ、自分の言葉で表現する力が弱い生徒が多い。

(6) 指導計画(全 7 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 【力とは何か】 (4時間) (本時1/4)	・力のはたらきとその表し方について理解する。 (本時)教科書p266～268	個人・ペア グループ・一斉	思考・判断・表現
	・力の大きさと単位について理解する。	個人・ペア グループ・一斉	知識・技能
	・二つの力のつりあいを調べ、二つの力の関係について理解する。	個人・ペア グループ・一斉	思考・判断・表現
	・いろいろな力に関して理解する。	個人・ペア グループ・一斉	主体的に学習に取り組む態度
第二次 【力の大きさとばねの伸び】 (3時間)	・力の大きさとばねの伸びの関係を調べ、ばねの伸びと力の大きさの関係について理解する。 ・重さと「重力・質量」について理解する。	個人・ペア グループ・一斉	知識・技能 思考・判断・表現

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校理科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 理科室もしくは第1学年〇組

(3) 学年・学級 第1学年〇組(30名)

使用教科書 自然の探究 中学理科1(教育出版)

(4) 単 元 名 単元4 光・音・力 第3章 力のはたらき 教科書 P266～279

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

小学校では、第3学年で、物は体積が同じでも重さは違うことがあること、風やゴムの力で物を動かすことができること、第6学年で「てこの規則性」について、力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを学習している。

【単元のねらい】

物体に力を働かせる実験を行い、その結果を分析して解釈することを通して力の働きやその規則性を見いだし、力は大きさと向きによって表されることが、物体に働く2力のつり合う条件など、力に関する基礎的な性質やその働きを理解させるとともに、力に関する観察、実験の技能を身に付けさせること。

【児童(生徒)の状況】

- ・物理領域の学習については、他の領域に比べて興味関心が低い。
- ・観察、実験に積極的に取り組むことができるが、実験の意味を十分に理解できていない生徒が多い。
- ・ペア活動やグループ活動に対して積極的に取り組むことができるが、自分の考えをまとめ、自分の言葉で表現する力が弱い生徒が多い。

(6) 指導計画(全 7 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 【力とは何か】 (4時間)	・力のはたらきとその表し方について理解する ・力の大きさと単位について理解する。 ・二つの力のつりあいを調べる、二つの力の関係について理解する。 ・いろいろな力に関して理解する。	個人・ペア グループ・一斉	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第二次 【力の大きさとばねの伸び】 (3時間) (本時1/3)	・力の大きさとばねの伸びの関係を調べ、ばねの伸びと力の大きさの関係について理解する。(1時間目/2時間) (本時)教科書p275～277	個人・ペア グループ・一斉	思考・判断・表現
	・力の大きさとばねの伸びの関係を調べ、ばねの伸びと力の大きさの関係について理解する。(2時間目/2時間)	個人・ペア グループ・一斉	思考・判断・表現
	・重さと「重力・質量」について理解する。	個人・ペア グループ・一斉	知識・技能

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『中学校理科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 理科室もしくは第2学年〇組

(3) 学年・学級 第2学年〇組(30名)

使用教科書 自然の探究 中学理科2(教育出版)

(4) 単 元 名 単元3 気象とその変化 第4章 日本の気象 教科書 P198～211

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

小学校では、第5学年で、天気の変化について学習している。

【単元のねらい】

天気図や気象衛星画像などを資料として、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解させるとともに、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けて理解させること

【児童(生徒)の状況】

- ・地学領域については、他の領域に比べて興味関心が低い。
- ・観察、実験に積極的に取り組むことができるが、実験の意味を十分に理解できていない生徒が多い。
- ・ペア活動やグループ活動に対して積極的に取り組むことができるが、自分の考えをまとめ、自分の言葉で表現する力が弱い生徒が多い。

(6) 指導計画(全 6 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間)	【大気の動き】 ・日本付近の大気の流れについて理解する。 ・地球規模の大気の流れについて理解する。	個人・ペア グループ・一斉	知識・技能 思考・判断・表現
第二次 (2時間) (本時1/2)	【日本の天気の特徴】 ・日本付近の気団の特徴や陸と海の役割について理解する。 (本時)教科書 P202,203	個人・ペア グループ・一斉	思考・判断・表現
	・四季の天気の特徴について理解する。	個人・ペア グループ・一斉	知識・技能
第三次 (2時間)	【天気の変化の予測】 ・天気の変化を予測する。	個人・ペア グループ・一斉	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。